

令和 8 年度大野市休日急患診療所運営協議会 会議概要

令和 8 年 8 月 2 6 日（水）午後 7 時～8 時 0 5 分

結とぴあ 2 0 1 ・ 2 0 2 号室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 報告事項（前年度業務報告）

①歳入歳出決算

(資料 1)

○事務局：資料 1 に基づき説明

○主な意見等

- ・歳入で地域振興基金繰入金について説明してほしい。

⇒ふるさと納税によるもので、健康や医療・福祉に使用してほしいなど、使い道希望に沿って各担当課に配分されたものである。毎年の寄付金額により、充当される金額も変わる。

- ・一般財源は制限が無いのか？

⇒当年度分の制限は無いが、あまりにも赤字が大きい場合などは、翌年度以降、営業時間など運営内容について検討する。

②休日急患診療所の利用状況

(資料 2-1、資料 2-2)

○事務局：資料 2-1、資料 2-2 に基づき説明

○主な意見等

- ・アレルギー疾患（アナフィラキシー）について内訳は？

⇒アナフィラキシーについては小児科が多い。

③休日急患診療所への搬送状況（大野市消防本部）

(資料 3)

○末永委員：資料 3 に基づき説明

○主な意見等

- ・一般負傷により救急車で運ばなければならないケースとは？

⇒転んでけがをされたようなケースである。

④放射線業務の状況（福井県放射線技師会）

(資料 4)

○高田委員：資料 4 に基づき説明

- ・患者数は減少しているが、撮影に関しては増加している。外科の方の撮影件数が約 1 ～2 割程度増加しており、その増加分が今回の撮影件数の増加の要因となった。

- ・毎年撮影の画質評価を行っており、B 評価の手技に関するものが例年より多かった。

C 評価は機械処理に関する事項であり、技師への正しい指導を行う予定。同一技師によるものは都度注意を行い改善を図る。

- ・医師の皆さまには、撮影した画像が見えにくいなど、診断に影響が生じる恐れがある場合は、再撮影を行うため、遠慮なく申し出いただきたい。

○主な意見等

- ・患者数が減って外科の撮影件数が増えた理由は再撮影によるものか？
⇒医師の依頼内容にもよる部分があり、例えば3方向からの撮影など依頼によって異なる。

(2) 協議事項（本年度業務について）

①歳入歳出予算

(資料5)

○事務局：資料5に基づき説明

○主な意見等

- ・報酬費が増加し、報償費が減少している理由は？
⇒報償費は、単価×出務回数という考え方であり、出務回数が減少すると全体の総額が減少する。報酬費は、職員のベースアップも影響しており、市の会計年度任用職員の報酬が上がると連動する。

(3) その他

災害時の対応について(資料6-1、6-2)

○事務局：資料6-1、6-2に基づき説明

- ・災害時の屋外対応および、大雪や大雨などによる屋内対応の想定について意見をいただきたい。

○主な意見等

- ・感染症の発生時には、車中での診察を活用しながら、屋内での診察と並行して行うと良い。また、感染症情報を活用すると良い。
- ・診察は誰が行う想定なのか。
⇒医師会より医師1名、看護師2名に出動いただくこととしている。また、市の職員も出動する。
- ・平時より駐車場の除雪は優先的に行ってほしい。
⇒除雪については継続して依頼を行っているが、今後も優先的な除雪が実施されるよう要望していきたい。

4 閉会